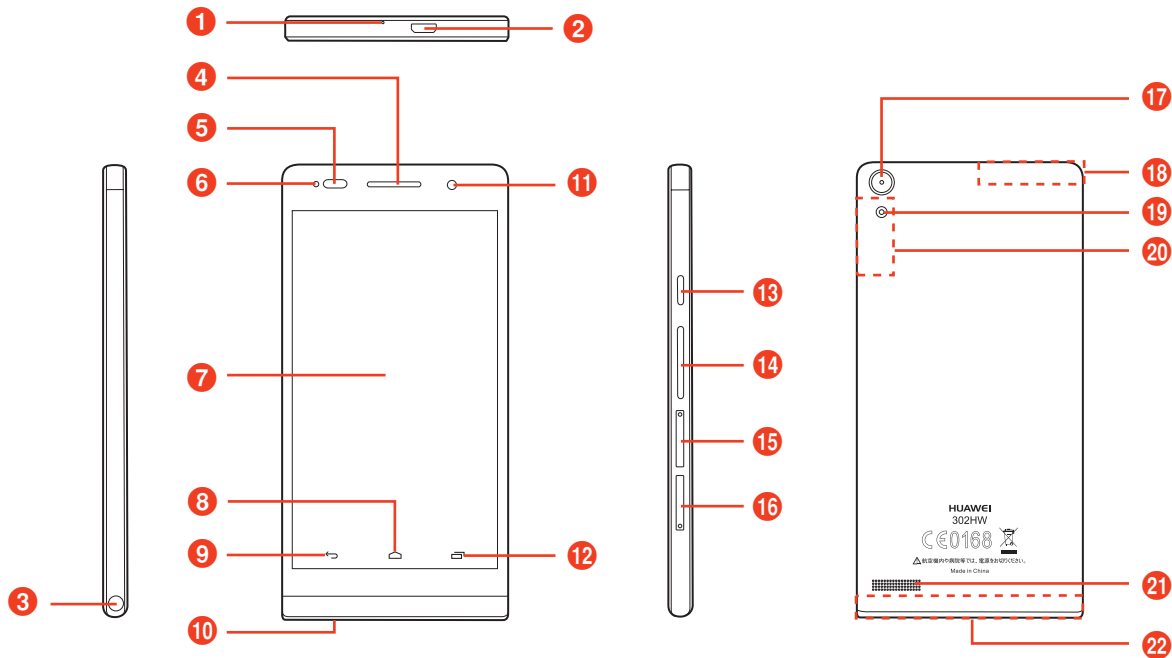





ご使用前の確認



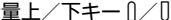
1

各部の名称と機能.....	P.31
USIMカードについて.....	P.33
SoftBank 3Gエリアでの利用について	P.36
PINコード.....	P.37
microSDカード.....	P.38
充電機器のお取り扱い.....	P.40
電源を入れる／切る.....	P.42
イヤホンマイク（試供品）の使いかた.....	P.45

各部の名称と機能



- ① サブマイク
- 通話時のノイズ音を低減するために使用されます。
- ② 外部接続端子
- 付属のmicroUSBケーブルを接続して、パソコンなどへの接続や充電に使用します (▶P.41、P.191)。
- ③ イヤホンマイク端子
- 付属のイヤホンマイク (試供品) (3.5mm径端子) を接続します。
 - イヤホンマイクは、付属品をご使用ください。付属品以外での動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ④ 受話口
- 通話相手の音声がかかります。
- ⑤ 調光センサー／近接センサー
- 周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。
 - 通話中に顔などが近づいたことを感知します。
- ⑥ LEDランプ
- 充電時や電池残量が少なくなると点灯、点滅します (▶P.41)。
 - ディスプレイ消灯時、点滅して不在着信や新着メールを通知します。
- ⑦ ディスプレイ (タッチパネル)
- 指で直接触れて操作できます (▶P.52)。
- ⑧ ホームキー  ※1
- ホーム画面に戻ります。
 - ロングタッチし、そのまま  までドラッグして指を離すと、「Google」アプリケーションを起動できます (▶P.62)。
- ⑨ 戻るキー  ※1
- 直前の画面に戻るときに使用します。
- ⑩ 送話口 (マイク)
- 通話相手に自分の音声を送るときや録音などに使用します。
- ⑪ インカメラ
- 自分を撮影するときなどに使用します。

- ⑫ 最近使用したアプリキー  ※1
- 最近使用したアプリケーションの一覧を表示するとき使用します。
- ⑬ 電源キー 
- 本機の電源が切れているときに2秒以上長押しすると、電源が入ります。
 - 本機の電源が入っているときに長押しすると、マナーモードや機内モードに設定したり、電源を切ったりすることができます。
 - 本機の電源が入っているときに押すとディスプレイの点灯／消灯ができます。消灯すると自動的に画面ロックがかかります。
- ⑭ 音量上／下キー 
- 着信音量や通話音量、音楽の再生音量などを調節します。
- ⑮ microSDカードトレイ
- microSDカードを取り付けます。
- ⑯ USIMカードトレイ
- USIMカードを取り付けます。
- ⑰ アウトカメラ
- 静止画や動画の撮影などに使用します。
- ⑱ 3G / LTEアンテナ部分 ※2
- ⑲ フラッシュ
- カメラの撮影時に点灯できます。
- ⑳ Wi-Fi / Bluetooth® / GPSアンテナ部分 ※2
- ㉑ スピーカー
- 着信音や再生中の音楽などが流れます。
- ㉒ 3G / GSM / LTEメインアンテナ部分 ※2

※1: ディスプレイ消灯中や、画面ロック中は表示されません。

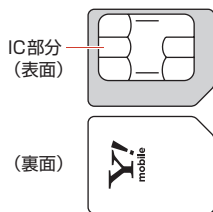
※2: アンテナ付近を手で覆うと、通話、通信品質に影響を及ぼす場合があります。

USIMカードについて

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記録されたICカードです。USIMカード対応のワイモバイルの携帯電話または機器に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていないときは、日本国内における電話の発着信などLTE/3Gネットワークによる通信機能が利用できません。

- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり、当社では責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- USIMカードにラベルやシールなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。
- USIMカードの詳しい取り扱いにつきましては、USIMカードの台紙に記載されている注意事項、および取扱説明をご覧ください。



その他の注意

- 使用中にUSIMカードを取り外すと本機が正常に動作しくなくなりますので、本機の電源が入っている状態では絶対に取り外さないでください。
- USIMカードは、当社が指定するネットワーク以外では使用できません。
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、盗難時などUSIMカードの再発行は有償となります。また解約時は当社にご返却ください。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更となる場合があります。
- お客様自身でUSIMカードに登録された情報内容などは、メモなどに控えておいてください。万が一、登録された内容が消失した場合は、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- USIMカードやUSIMカード装着済み本機を紛失・盗難された場合には、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（☎P.286）までご連絡ください。

USIMカードの取り付けかた／取り外しかた

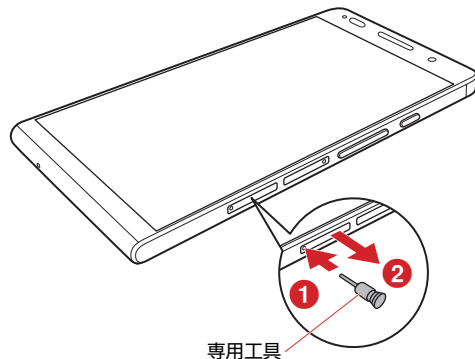
- USIMカードの取り付け／取り外しのときに無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- USIMカードの取り付け／取り外しときは、同梱の専用工具（試供品）をご使用ください。
- USIMカードの取り付け／取り外しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください（▶P.42）。
- 同梱の専用工具（試供品）は、USIMカード、microSDカードの取り付け／取り外し以外には使用しないでください。
- 同梱の専用工具（試供品）、USIMカード、USIMカードトレイは小さな部品ですので、お取り扱いにごご注意ください。

USIMカードを取り付ける

1 専用工具（試供品）をトレイの穴に差し込み、矢印の方向にゆっくりと押す（①）

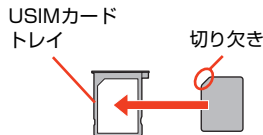
USIMカードトレイが押し出されるまで、専用工具（試供品）をゆっくりとUSIMカードトレイの穴に押し込んでください。

2 出てきたトレイを引き出す（②）



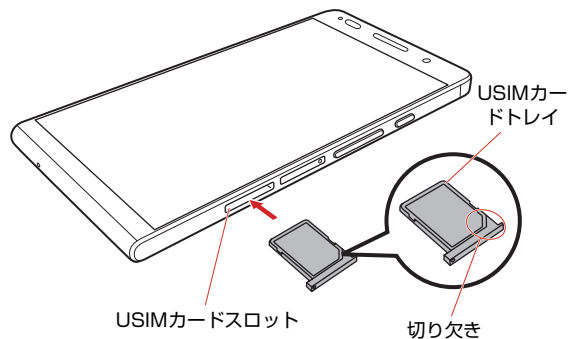
3 USIMカードをトレイに取り付ける

- USIMカードのIC部分を下にして、USIMカードトレイにセットします。
- USIMカードの取り付け時は、IC部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。



4 USIMカードスロットに、USIMカードを取り付けたトレイを、矢印の方向にゆっくりと奥まで押しで取り付ける

- USIMカードは、向きに注意して正しいスロットに挿入してください。誤ったスロットに挿入すると破損する恐れがあります。
- USIMカードトレイは、本機とUSIMカードトレイの段差がないように取り付けてください。

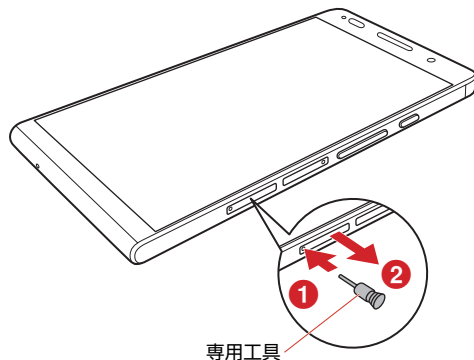


USIMカードを取り外す

1 専用工具（試供品）をトレイの穴に差し込み、矢印の方向にゆっくりと押す (1)

USIMカードトレイが押し出されるまで、専用工具（試供品）をゆっくりとUSIMカードトレイの穴に押し込んでください。

2 出てきたトレイを引き出す (2)

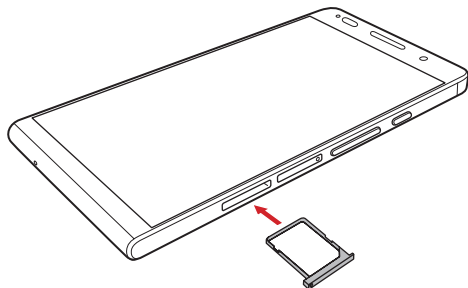


3 USIMカードをトレイから取り外す

- USIMカードの取り外し時は、IC部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。

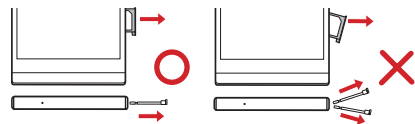
4 USIMカードスロットに、USIMカードを取り外したトレイを、矢印の方向にゆっくりと奥まで押し取り付ける

- USIMカードトレイは、本機とUSIMカードトレイの段差がないように取り付けてください。



■ お知らせ

- USIMカードトレイ／microSDカードトレイを引き出す際は、まっすぐに抜いてください。引き出す際に傾けたりすると、本機内の端子が破損し、USIMカード／microSDカードが認識されなくなる恐れがあります。



USIMカードトレイの例

SoftBank 3Gエリアでの利用について

本機はワイモバイルのサービスエリア外で自動的にSoftBank 3Gネットワークに接続して、通話や通信ができます。

- SoftBank 3Gネットワークに自動的に接続するには、「ネットワークオペレーター」(▶P.265)を「自動選択」に設定しておく必要があります。

■ お知らせ

- 本機にUSIMカードを取り付けている場合に利用できます。
- SoftBankの4G (LTE) ネットワークには接続できません。

PINコード

USIMカードには、PIN/PIN2と呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、他人に知られないように十分ご注意ください。

また、PIN/PIN2の入力を続けて3回間違えた場合は、間違えた方のPINがロックされ、使用できなくなります（PINロック状態）。ロックを解除するには、PINロック解除コード（PUK）の入力が必要です。

PINコード

PINとは、第三者による本機、またはUSIMカードの無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- PINコードは変更できます（▶P.244）。
- USIMカードを本機に取り付けて電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本機を使用できないようにすることができます（▶P.244）。

PIN2コード

PIN2とは、USIMカードに記録されている情報を変更する場合などに入力する4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- 2014年7月現在、PIN2コードに関するサービス/機能は利用できません。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINコードの入力を3回続けて間違えると、PINロックが設定されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、PINロックは解除されます。

- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（▶P.286）までご連絡ください。

お知らせ

- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えた場合は、USIMカードがロックされ、使用できなくなります（USIMカードロック）。USIMカードがロックされた場合は、ロックを解除する方法はありませんので、新たなUSIMカードと交換する必要があります。また、手続きにともない所定の手数料が請求される場合があります。手続きの詳細については、お問い合わせ先（▶P.286）までご連絡ください。
- 買い増しなどにより、別のワイモバイルの携帯電話やUSIMカード対応機器にご利用中のUSIMカードを取り付けてご使用になる場合は、ご利用中のUSIMカードに設定されているPIN/PIN2が有効となります。

microSDカード

本機では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。

撮影した静止画／動画、ダウンロードした音楽／動画などをmicroSDカードに保存することができます。

- microSDカードの取り付け／取り外しの際は、同梱の専用工具（試供品）をご使用ください。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

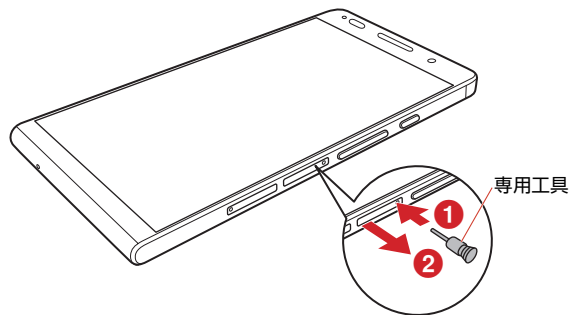
- 同梱の専用工具（試供品）は、USIMカード、microSDカードの取り付け／取り外し以外には使用しないでください。
- 同梱の専用工具（試供品）、microSDカード、microSDカードトレイは小さな部品ですので、お取り扱いにご注意ください。

microSDカードを取り付ける

1 専用工具（試供品）をトレイの穴に差し込み、矢印の方向にゆっくりと押す（①）

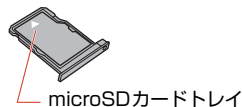
microSDカードトレイが押し出されるまで、専用工具（試供品）をゆっくりとmicroSDカードトレイの穴に押し込んでください。

2 出てきたトレイを引き出す（②）



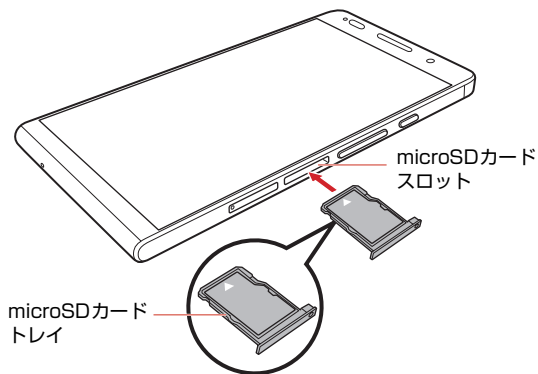
3 microSDカードをトレイに取り付ける

- microSDカードの金属端子を下にして、microSDカードトレイにセットします。microSDカードの幅の狭い方がスロット奥側になるようにセットしてください。
- microSDカードの取り付け時は、金属端子に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。



4 microSDカードスロットに、microSDカードを取り付けたトレイを、矢印の方向にゆっくりと奥まで押し取り付ける

- microSDカードは、向きに注意して正しいスロットに挿入してください。誤ったスロットに挿入すると破損する恐れがあります。
- microSDカードトレイは、本機とmicroSDカードトレイの段差がないように取り付けてください。



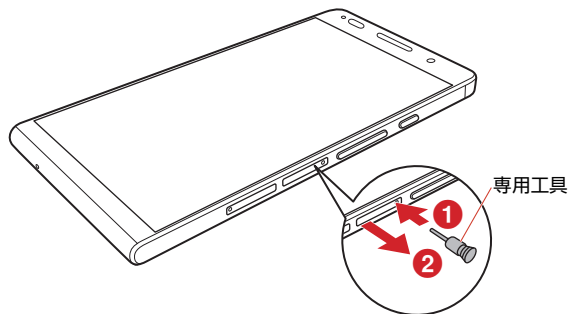
microSDカードを取り外す

- microSDカードの取り外しは、必ずmicroSDカードのマウントを解除してから行ってください (▶P.193)。

1 専用工具 (試供品) をトレイの穴に差し込み、矢印の方向にゆっくりと押す (1)

microSDカードトレイが押し出されるまで、専用工具 (試供品) をゆっくりとmicroSDカードトレイの穴に押し込んでください。

2 出てきたトレイを引き出す (2)

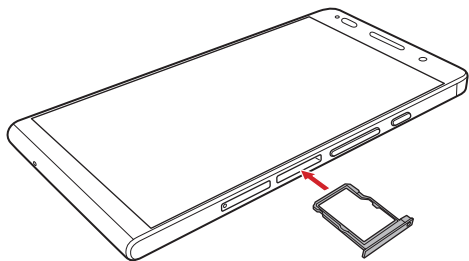


3 microSDカードをトレイから取り外す

- microSDカードの取り外し時は、金属部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。

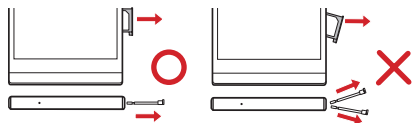
4 microSDカードスロットに、microSDカードを取り外したトレイを、矢印の方向にゆっくりと奥まで押し取り付ける

- microSDカードトレイは、本機とmicroSDカードトレイの段差がないように取り付けてください。



お知らせ

- USIMカードトレイ／microSDカードトレイを引き出す際は、まっすぐに抜いてください。引き出す際に傾けたりすると、本機内の端子が破損し、USIMカード／microSDカードが認識されなくなる恐れがあります。



USIMカードトレイの例

充電機器のお取り扱い

充電機器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- 充電時間、待受時間、通話時間などの目安は、「主な仕様」(▶P.277)をご参照ください。
- 本機、ACアダプタ(オプション品)、microUSBケーブルの金属部分(充電端子)が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがありますので、乾いた綿棒などで拭いてください。
- 本機の利用可能時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。

内蔵電池の残量表示について

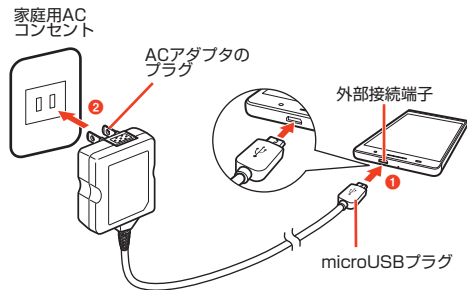
本機の内蔵電池の残量は、ステータスバーのステータスアイコン(▶P.50)で確認できます。また、ホーム画面で「設定」→「端末情報」→「端末の状態」をタップすると、「電池残量」の下にパーセント表示で内蔵電池の残量が表示されます。

- 電池残量が19%以下になると、画面ロック解除画面に充電を促すメッセージが表示されます。
- 電池残量が4%以下になると、通知音とともに電池残量が少なくなったため充電を促すメッセージが表示され、LEDランプが赤く点滅します。

- 電池残量が2%以下になると、通知音とともに電池が空になったため約30秒後にシャットダウンする旨のメッセージが表示され、自動的に本機の電源が切れます。本機を再起動する場合は、充電してから電源を入れてください。

充電する



ACアダプタ（オプション品）を使用して充電します。



1 本機の外部接続端子にACアダプタ（オプション品）のmicroUSBプラグを差し込む（①）

- microUSBプラグを取り付けるときは、正しい方向に無理なく取り付けてください。逆方向に取り付けようとすると、破損や故障の原因となります。

2 ACアダプタ（オプション品）のプラグを家庭用ACコンセントに差し込む（②）

充電が開始され、ステータスバーにが表示されます。充電が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

- 充電中はLEDランプが点灯し、点灯色で充電状態の目安がわかります。電池残量が10%以下の場合は赤、10～90%未満の場合はオレンジ色、90%以上の場合は緑色に点灯します。

3 充電が完了したら、ACアダプタ（オプション品）のプラグを家庭用ACコンセントから抜き、microUSBプラグを本機から抜く

■ お知らせ

- ACアダプタは必ず本機に対応しているオプション品（別売）を使用してください。
- 本機に対応している充電用機器（オプション品）については、ワイモバイルのホームページ（<http://ymobile.jp/>）にてご確認ください。
- ACアダプタ（オプション品）の取扱説明書もご覧ください。
- 付属のmicroUSBケーブルを使用して本機とパソコンを接続しても、本機を充電できます。ただし、一部の機種を除いて、パソコンの電源を切った状態では充電できません。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ○（電源キー）を2秒以上長押し

- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（▶P.43）。

■ USIMカードロックがかかっている場合

USIMカードロック（▶P.244）を設定している場合は、PINコード（▶P.37）の入力による認証が必要です。入力画面が表示されたら、PINコードを入力して◀をタップしてください。

■ 画面ロックがかかっている場合

○（電源キー）を押してディスプレイを点灯させます。

- お買い上げ時は、画面ロックの解除セキュリティが「2Dロック解除」に設定されています。◻を右方向に表示される◻の位置までドラッグして、ロックを解除してください。
- 画面ロックの解除セキュリティを「2Dロック解除」以外に設定している場合は、設定中の解除方法でロックを解除してください（▶P.245）。
- 画面ロックの解除セキュリティを「フェイスアンロック」に設定しても、本機の起動／再起動時には動作しません。フェイスアンロック設定時に設定したパターン／暗証番号のバックアップ認証でロックを解除してください。

お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- （電源キー）を押した後、本機の反応がない場合は、充電が不十分ことがあります。充電完了後、再び操作を行ってください。

電源を切る

1 ○（電源キー）を1秒以上長押し



2 「電源を切る」→「OK」

- マナーモード（▶P.65）や機内モード（▶P.66）を設定することもできます。

お知らせ

- （電源キー）を1秒以上長押ししても本機の反応がない場合は、○（電源キー）を6秒以上長押しすると、強制的に電源を切ることができます。

再起動する

1 ○ (電源キー) を1秒以上長押し

2 「再起動」 → 「OK」

■ お知らせ

- (電源キー) を13秒以上長押しすると、強制的に再起動できます。

初期設定

はじめて電源を入れたときや、「データの初期化」(▶P.256)を行った後は、初期設定としてGoogleアカウントなどの設定を行います。電源を入れてしばらくすると、「ようこそ」画面(初期設定の開始画面)が表示されます。画面の指示に従って設定します。

- ここでは、USIMカードが取り付けられた状態で、はじめて電源を入れたときの初期設定を説明します。
- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。詳細については、「スマートフォンの自動通信について」(▶P.20)をご参照ください。

1 「日本語」を表示→▶

- 日本語以外の言語を表示させたい場合は、「日本語」を上下にスワイプ/スライドして言語を選択します。
- 「📢緊急通報」をタップすると、緊急通報ができます。



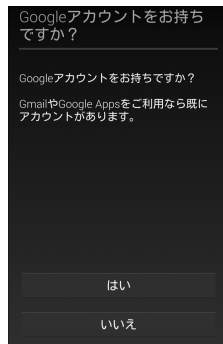
2 「スキップ」→「スキップ」

- Wi-Fi機能がオンになります。
- Wi-Fiのアクセスポイントをご利用になる場合には、ご利用になるアクセスポイントをタップし、画面の指示に従って設定します。



3 Googleアカウントを設定する

Googleアカウントの設定が終了すると、ホーム画面が表示されます。



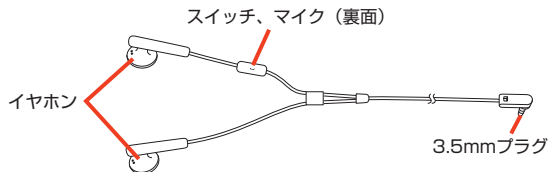
- お持ちのGoogleアカウントを利用する場合は「はい」をタップして「既存のアカウントを使う」(▶P.117) 操作2~7を、新規に作成する場合は「いいえ」→「アカウントを作成」をタップして「新しいアカウントを作成する」(▶P.120) 操作2~10をご参照ください。
- Googleアカウントを後で設定する場合は、「いいえ」→「今は設定しない」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

イヤホンマイク（試供品）の使いかた

本機でイヤホンを接続してご利用になる場合は、付属のイヤホンマイク（試供品）（HWLBC1）をご使用ください。

- 本機では、付属のイヤホンマイク（試供品）以外の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
- イヤホンマイク（試供品）を使用するときは、耳をいためたりしないよう音量にご注意ください。また、周囲にご配慮ください。

■ 各部の名称と機能



- イヤホンマイク（試供品）の3.5mmプラグを、本機のイヤホンマイク端子（▶P.32）に接続してください。

■ スイッチの操作

イヤホンマイク（試供品）のスイッチを押すと、次の操作ができます。

機能		操作方法
通話	電話を受ける	電話着信中にスイッチを押す
	着信を拒否する	電話着信中にスイッチを1秒以上長押し
	通話中にミュート（消音）にする	通話中にスイッチを押す • 再度スイッチを押すと、ミュートが解除されます。
	電話を切る	通話中にスイッチを1秒以上長押し
撮影	静止画を撮影	カメラの撮影画面でスイッチを押す
	動画を撮影／撮影停止	カメラの動画撮影画面でスイッチを押す／動画撮影中にスイッチを押す
検索	Google 音声検索を行う	ホーム画面などでスイッチを1秒以上長押し

■ お知らせ

- 音声再生中に本機からイヤホンマイク（試供品）を抜くと、再生が一時停止します。
- 通話中に☐をタップしてホーム画面を表示している場合は、スイッチを1秒以上押すと電話が切れます。
- 通話中またはカメラの撮影画面でスイッチを1秒以上押しても、Google 音声検索は起動しません。